日本言語政策学会（JALP） 第16回大会

大会テーマ：言語政策研究の立案と実践の融合

―小学校における多言語状況とボトムアップの言語政策研究―

日　時　2014年6月7日（土）～8日（日）

場　所　千葉大学文学部・法経学部棟（JR西千葉駅徒歩7分）
（http：//www.chiba-u.ac.jp/access/nishichiba/index.html）

会　費（予稿集）　会員500円　一般1000円

6月7日（土）12:00～　受付開始（文法2号棟1階ロビー）

第1日目　会場　文法1号棟1階106号室（控室 文法2号棟2階第1会議室）

13:00－13:15　開会の辞
会場校挨拶　小沢弘明（千葉大学副学長 普遍教育センター長）
会長挨拶　森住　衛（日本言語政策学会会長）

13:15－14:05　基調講演
「言語政策研究の立案と実践の融合―JACTFLの設立及び中等教育における複言語教育の現状と今後の政策―」
講演者　山崎吉朗（日本外国語教育推進機構理事長）
司　会　森住　衛（日本言語政策学会会長）

14:15－15:45　シンポジウム1
「小学校における多言語状況―言語教育政策と教育現場―」
発表1「国際理解の視点からみることばの教育の実践と課題」
山西優二（早稲田大学）
発表2「小学校での外国語教育―実践例から見る言語や文化の扱い方について―」
阿部始子（工学院大学・南アルプス子どもの村小学校）
発表3「総合学習における実践から―多言語・多文化とことばをめぐる問題を題材とした新井小学校高学年での実践―」
秦さやか（新宿区立淀橋第四小学校）
司会・討論者　木村哲也（帝京大学）

15:50－17:20　シンポジウム2
「ボトムアップの言語政策研究―立案側と現場のギャップを埋めるために―」
発表1「立案者と現場と理論のインターフェース―移住者の言語問題を対象に―」　渋谷勝己（大阪大学）
発表2「フィールド調査から言語政策へ―在日外国人の言語問題経験に近づくために―」　猿橋順子（青山学院大学）
発表3「言語問題に対する単純管理と組織管理―EU統合の現場から―」　木村護郎クリストフ（上智大学）
討論者　S.K.ファン（神田外語大学）
司　会　村岡英裕（千葉大学）

17:40－19:30　懇親会　けやき会館（会費4000円）

6月8日（日）9:30～　受付開始（文法2号棟1階ロビー）

第2日目　会場　文法1号棟1階102号室、文法1号棟1階103号室、文法1号棟1階106号室、文法3号棟1階画像情報室、文法2号棟1階演習室16（控室 文法2号棟2階第1会議室）

10:00－11:30　一般研究発表・特別研究レクチャー
11:30－13:00　ポスター発表

第1会場　文法1号棟1階106号室　　司会　樋口謙一郎（椙山女学園大学）

10:00－10:30「インターナショナルスクールに通う児童の語彙力と親の言語教育観―韓国人母語話者を対象として―」　金　ボラ（京都大学・院生）
10:30－11:00「朝鮮語教育内容の転換に見る継承語教育のあり方―在日朝鮮学校の口語教育強化策を中心に―」　柳　美佐（京都大学・院生）
11:00－11:30「ろう者の書記日本語に対する意識」【手話通訳つき】
中山慎一郎（日本手話研究所）、山岸千華（江戸川ろう者協会）

第2会場　文法1号棟1階102号室　　司会　斉藤伸子（桜美林大学）

10:00－10:30「シンガポールにおける生涯学習としての言語教育―コミュニティーセンターの語学教室より―」　岡本佐智子（北海道文教大学）
10:30－11:00「JF日本語教育スタンダードとCEFRが導く意図せざる帰結」
新井克之（九州大学・院生）
11:00－11:30「外国語教育における『社会文化』の扱い―『外国語としてのドイツ語』からの考察―」　杉谷眞佐子（関西大学）

第3会場　文法1号棟1階103号室　　司会　柿原武史（南山大学）

10:00－10:30「仏領ポリネシアの言語動態―大言語が消滅し、小言語が安定する？―」
西本希呼（京都大学）
10:30－11:00「言語マイノリティの子どもに対する教育支援―米国とフランスとの比較から見えること―」　大山万容（京都大学）

第4会場　文法3号棟1階画像情報室　　司会　西山教行（京都大学）

10:00－11:30　特別研究レクチャー「フランスにおける英語による高等教育研究とは？」【日本語通訳つき】
ピエール・マルチネス（パリ第8大学・名誉教授）

ポスター発表　文法2号棟1階演習室16

11:30－13:00「台湾タオ族の日本語―植民地時代の教育から―」
大輪香菊（桜美林大学・院修了）
「主体による言語政策の性質の違い―国家語・少数言語・覇権語はどのような戦略を持つか―」　西島　佑（上智大学・院生）

13:00－13:20　総会　文法1号棟1階106号室

13:30－17:20　分科会

第1分科会

13:30－15:20　文法1号棟1階106号室
「情報保障と日本の言語施策の課題」【手話通訳つき】
司会・問題提起　佐々木倫子（桜美林大学）
「外国人受入と日本語教育施策の課題」尾崎明人（名古屋外国語大学）
「言語景観・言語サービスの課題」　岩田一成（聖心女子大学）
「小学校国語科教科書に見られる情報保障教育の課題」
森　篤嗣（帝塚山大学）

第2分科会

15:30－17:20　文法1号棟1階106号室
「真のグローバル人材の育成のために―高等学校における複数外国語必修化に向けて―」
司会・問題提起　古石篤子（慶應義塾大学）
「教育行政の立場から」
圓入由美（文部科学省初等中等教育局国際教育課外国語教育推進室長）
「産業界の立場」　上村成彦（ソニー株式会社人事部門副部門長）
「日本社会の未来を拓く多様な外国語教育を目指して」
臼山利信（筑波大学）

第3分科会

13:30－15:20　文法1号棟1階103号室
「メディア・リテラシーと言語教育政策の課題―元ジャーナリストによるメディア・リテラシー教育実践から―」
司会・問題提起　岡本能里子（東京国際大学）
「情報に振り回されない為の《4つのハテナ》」
下村健一（慶應義塾大学、元TBSキャスター）
「やわらかな発信力を、どう身につけるか」
五十嵐浩司（大妻女子大学、元朝日新聞編集委員、元『報道ステーション』コメンテーター）
全体討論・討論者　門倉正美（横浜国立大学・名誉教授）

第4分科会

15:30－17:20　文法1号棟1階103号室
「言語と格差の関係と問題点―日本・韓国・マカオの場合―」
司会・問題提起　杉野俊子（工学院大学）
「セミリンガルの日系ブラジル人生徒と学力テストの風評被害」
杉野俊子（工学院大学）
「外国人高齢者のかかえる言語問題」
河原俊昭（京都光華女子大学）
「韓国の多文化主義政策と言語問題」
樋口謙一郎（椙山女学園大学）
「マカオにおける公用語と言語教育の問題」　原　隆幸（鹿児島大学）

第5分科会

15:30－17:20　文法1号棟1階102号室
「観光と言語」　司会・問題提起　山川和彦（麗澤大学）
「宿泊施設におけるツーリスト・トークの分析」
加藤好崇（東海大学）
「観光立国化の中で求められる言語政策とは」
藤井久美子（宮崎大学）
「外国人観光客受け入れに伴う言語的地域変容について」
山川和彦（麗澤大学）、藤田依久子（静岡産業大学）、温琳（麗澤大学）